

対象国の条件：土地区画整理手法を活用しているあるいは実際に導入しようとしている国

研修コース番号：201984766-J002

案件番号：201984766

主分野課題：都市開発・地域開発/都市開発

副分野課題：

使用言語：英語

**案件概要**

「土地区画整理手法」（権利変換型の都市開発手法）を用いた都市開発事業を実施しており、そのための制度を整備しつつある国、あるいは具体的に土地区画整理手法の導入を試みている国を対象とし、土地区画整理手法を活用した都市開発事業の展開や社会的経済的文化的に適合する土地区画整理制度の確立に向け、日本の経験を伝えるとともに、参加各国の事例比較等を通して、参加者が抱える課題について取り組む課題解決型のプログラムである。

目標／成果	対象組織／人材
<p><b>【案件目標】</b> 自国における土地区画整理手法（全面買収型ではなく権利変換を基本とする都市開発手法）を用いた都市開発事業の推進に関して抱えている課題についてその解決の方向が見出され、都市開発制度の確立／改善／普及に資するアクションプランが提案される。</p> <p><b>【成果】</b> 1) 自国で抱えている土地区画整理事業の実施や土地区画整理制度の構築上の課題が整理される。 2) 日本の土地区画整理手法及び制度を理解する。 3) 日本の土地区画整理手法の事例、参加国における事例の比較等を通して、自国で抱えている課題解決について検討する。 4) 3)を踏まえ、自国で抱えている都市開発事業実施上の課題解決方向及び自国の都市開発制度の確立／普及／改善に資するアクションプランが作成される。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 中央及び地方政府で都市計画・都市開発分野にかかわる政府関係機関で、土地区画整理を担当している組織。</p> <p><b>【対象人材】</b> (1) 大学卒業もしくはそれと同等の資格を有し、原則として都市計画・都市開発分野で5年以上の実務経験を持つ者 (2) 30歳から45歳の者 (3) 都市開発の政策立案あるいは都市開発／都市計画の実務、特に土地区画整理の実務に携わっている者</p>

内 容	本邦研修期間	2019/5～2019/7
<p><b>【事前活動】</b> 土地区画整理に関して自国における制度、事業実施状況、及び課題に関するインセプションレポートの作成。課題については本研修を通じて解決したい課題を特定する。</p> <p><b>【本邦研修】</b> 講義、視察、ディスカッション、ワークショップ、レポート作成・発表を通じて以下の内容を学習する。 (1) 日本の都市計画、都市開発制度、土地区画整理の潮流 (2) 各国の課題解決に資する権利変換型都市開発事業（再開発事業、土地区画整理事業）の事例の視察 (3) 土地区画整理に関する各国の制度・事業の比較研究・意見交換 (4) 課題解決のためのワークショップ、演習 (5) 課題解決提案及びアクションプランの作成・発表</p> <p><b>【事後活動】</b> 課題解決提案及びアクションプランの組織内での共有及び帰国後活動報告の作成</p> <p>※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創 (Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。</p>	本邦研修期間	
	担当課題部	社会基盤・平和構築部
	所管国内機関	JICA東京（経済環境）
	関係省庁	国土交通省（建設）
	実施年度	2017～2019

<p>主要協力機関</p>	<p>公益社団法人 街づくり区画整理協会</p>
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	